

第80回東北大学サイエンスカフェ

2012年5月25日（金） せんだいメディアテーク

大野英男教授が、5月25日（金）午後6時からせんだいメディアテークで開催された「東北大学サイエンスカフェ」に出演されました。

テーマは「スピンと半導体を使った省エネルギー集積回路」。電子の電荷とスピンの両方を使う『スピントロニクス』により省エネルギーの集積回路が実現できると期待されていますが、今回のサイエンスカフェでは、これにまつわる物理、材料科学、電子工学について俯瞰すると共に、世界のトレンドを決めるダイナミズムとそれがもたらす社会的インパクトについて考えました。



当日は、生憎の雨にもかかわらず120名を超える方にご参加いただき、会場は超満員となりました。

途中2回の実験を通じて、スピントロニクスをいくらかでも実感していただけたと思います。国が選定した「世界の頂点をめざす研究者30名」のうちの一人である大野教授に対して仙台第一高等学校の生徒が直接質問するなど、高校生のみなさんにとっても世界のトップの世界を垣間見るよい機会となったようです。

大野 英男（おおの ひでお）

東北大学電気通信研究所 教授、

東北大学省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター センター長

東京都出身。東京大学工学部、東京大学大学院工学系研究科修了後、北海道大学講師、助教授を経て、平成6年東北大学工学部教授、平成7年東北大学電気通信研究所教授、平成22年より東北大学省エネルギー・スピントロニクス集積化システムセンター長を併任。専門は半導体物理・半導体工学、スピントロニクス。日本学士院賞、東北大学総長特別賞、トムソン・ロイター引用栄誉賞等受賞。趣味は読書、スキー、サッカー観戦。

